

高齢者総合福祉施設 風早の家

平成 30 年度 第 1 回運営推進会議 議事録

対象事業所	特別養護老人ホーム 風早の家 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)
	デイサービス かしま (地域密着型通所介護)
	小規模多機能 にじいろ (小規模多機能型居宅介護)
開催日時	平成 30 年 5 月 29 日 (火)
開催場所	(風早の家内) <特養>れんげユニット
出席者	【ご利用者】
	【ご家族代表】 2 名
	【地域包括センター】 1 名
	【松山市役所】 1 名
	【法人 理事・評議員】 3 名
	【地域の方】 町内会長 民生児童委員
	【事業所】 (施設長) 近藤浩之 (風早の家) 坂田 毅 (かしま) 中山 幸恵 (にじいろ) 宮本 武・杉森理代
配布資料	あり

議 事

開会あいさつ (施設長 近藤浩之)	<p>今年度初めての開催となります。</p> <p>新しい顔ぶれも増えております。自己紹介等も入れていければと思っております。</p> <p>施設玄関に巣を作っておりましたつばめも今朝巣立っていきました。職員も自分の力で巣立っていけるよう努力していきたいと思っております。</p> <p>ニュースでは梅雨入りしたということで、じめじめした季節になりますが、皆様の笑顔と利用者様の笑顔ですっきりとした夏に向かっていきたいと思っておりますので、活発なご意見ありましたらよろしくお願ひしたいと思っております。</p>
<p>■今年度新規参加者紹介</p> <p>■身体拘束廃止委員会 より意見を聴く</p>	<p><input type="checkbox"/>平成 30 年度 運営推進会議 委員の自己紹介</p> <p><input type="checkbox"/>身体拘束廃止に関する指針について (施設が定めている身体拘束に関する指針について説明を行う。)</p> <p>現在の施設での身体拘束の現状を報告。</p> <p>施設では、指針を元にご家族様に説明と同意をいただいている。また、やむを得ない身体拘束の際には、記録を取り、残している。</p> <p>車椅子から立ち上がれないようベルトをしたり、部屋に鍵をかけて出入りできないようにする事だけでなく、社会的・経済的損失や言葉掛けや人権の侵害など、人間としての尊厳を傷つけるような精神的なことも拘束で</p>

	<p>ある。全面にベッドの柵をすることなども拘束に入ってくる。</p> <p>身体拘束は、人としての尊厳を守っていくという観点からも、間違っていることである。</p> <p>今回の4月の法律改正でも身体拘束について変化がありました。安全な生活を守る為、身体拘束の適正化という事を中心とした指針を作りました。</p> <p>なぜ指針を作り、同意書を取っているかという、例えば、歩行が不安定で転倒してしまう可能性がある方がおられる。転倒してしまえば、骨折の可能性が極めて高く、また、骨折となれば、寝たきりの状態となる可能性が高い。そういう現状も踏まえた上で、その方の安全な生活を守る為に、主治医とも相談した上で、時間を決めて拘束し、それ以外の時間には拘束をしないようにしている。</p> <p>そして、そのやむを得ない拘束の際には、指針に基づき、必ず家族の同意を取り、時間・内容を記録しているという事です。</p> <p>施設内で委員会も作り、職員研修も行い、各々が身体拘束について、また、指針について考えるようにしている。</p>
<p>■ 各事業所からの 状況・活動報告</p>	<p>□特別養護老人ホーム風早の家（坂田より）</p> <p>入所者数 29名（満床） 男性 3名・女性 26名</p> <p>要介護度 介護 2：3名 介護 3：13名 介護 4：6名 介護 5：8名</p> <p>・活動報告</p> <p>4月2日（月）入社式 新入社員 2名</p> <p>4月27日（金）松山市議会議員選挙 不在者投票</p> <p>5月15日（火）入所判定会開催</p> <p>5月20日（日）認知症カフェ「あおぞらカフェ」開催</p> <p>6月21日（木）昼間想定避難訓練開催予定</p> <p>□デイサービスかしま（中山より）</p> <p>利用状況：1日定員 18名 利用実人数 39名 利用者登録者数 44名</p> <p>男女比：男性 11名 女性 28名</p> <p>年齢構成：最高年齢 97歳 最低年齢 66歳</p> <p>介護度：要支援 1-6名 要支援 2-7名 要介護 1-11名 要介護 2-7名 要介護 2-5名 要介護 4-3名 要介護 5-0名</p> <p>その他利用者様の動き</p> <p>入院 2名・利用休止 3名・利用終了 1名</p> <p>日中活動（写真にて報告）</p> <p>・毎週木曜日に移動スーパーとくし丸</p>

- ・瓦のふるさと公園にて藤棚・バラを鑑賞
- ・壁面製作活動

今後の課題：現在、曜日ごとの利用者数に斑があり、多い日では16名、少ない日では9名になっています。
新規利用者を水曜日に獲得できるよう、活動内容を工夫していききたいと思います。
午後のレクリエーションもマンネリ化しないように、現在行っていることにプラスαし、活動を活発にしていきたいと思っています。

□小規模多機能にじいろ（杉森より）

利用状況：登録者数 4月 12名

5月 10名（男性3名・女性7名）

最高年齢：103歳女性 最低年齢：70歳男性

その他ご利用者様の動き：

4月ご利用者様1名入院のため退所

4月特養入所のため退所。

主な活動・出来事：

3/20 職員会議

3/22 尺八演奏会・お好み焼き作り

3/24 お誕生日会

4/5 お花見ドライブ

4/15 いきいきカフェ参加

4/26.27 職員会議

5/7 勉強会

5/19 今治方面へドライブ

5/20 いきいきカフェに参加

5/22 職員会議

5/26 尺八演奏会

■質疑応答

□評議員：最近施設の雰囲気が良くなったと思います。以前は他のデイサービスと比較したら物足りなさがあったが、今は負けなくらいになったと思います。

活動の内容が良くないと、他に取りられてしまう。ドライブやお買い物、尺八演奏会など充実してきたのではないかと思う。

→施設長：皆さん地元に住んでおられるかたばかり。地元からの声が入っているといます。気を使わず、いいことだけでなく

改善点を言っていただきたい。

施設という内側目線だけでなく、外からの意見をもっともっと受け入れていかないと、地域に根ざしたり、地域と協力していくことは難しいのではないかと思います。

改善点を言っていただくことは助かります。

□評議員：建物内にずーっといるのではなく、30分だけでも花を見たりするだけでも気分転換できる。

□民生委員：たまに施設に来させてもらって雰囲気がいい。職員の対応もいいので、施設がいい空間であるとわかる。

利用者様というのは、できるだけいいところに行きたいと思う。

施設がたくさん建設されているが、働く人はいるのか？施設に順番待ちの高齢者はいるのか聞いてみたい。

→施設長：人手不足は介護現場に限ったことではない。

若者が都会に出て行き、地方には残らなくなっている。

地元にはこんないい企業がある、いい職場があると、企業側がアピールしていくのもひとつの方法ではないかと思う。

若者が入職してすぐ辞めてしまわないように、施設側の努力は必要である。

→行政：給料面は国のほうも処遇改善加算を設けて、給料をアップできるようにしている。

職員の不足はどこの施設に行っても聞くことです。

国が海外からの介護職員を受け入れる体制を作った。そのような努力は行っている。

→施設長：法人でも、外国人労働者を受け入れることになっている。

人手不足の解消が目的ではなく、外国人の方の技術研修が目的であり、日本で技術を身につけて母国に帰ることになる。

秋にはミャンマーから6名を受け入れることになっている。

初めてのことで、なんとかやり繰りしながら技術を指導していきたいと思う。

もうひとつは国も進めているロボット化、スマホや機械を使った業務に取り組んでいく。

待機者は当施設にもいらっしゃいます。

昔は100名の待機者がいる施設もありましたが、現在は施設も増え、待機者は減ってきている。

→区長：入職した方も施設に愛着が持てるよう、人を育てて行ってもらいたい。

	<p>→包括支援センター：職員間の関係はとてもいい。 買い物など日常の行動でのリハビリ活性化・地域との交流は すごくいいと思います。 ご本人様が幸せになって、家族が安心できる施設になっている と思う。</p>
--	--

<p>■連絡事項等</p>	<p><input type="checkbox"/>8/5（日）毎年恒例の法人夏祭りが行われます。</p> <p><input type="checkbox"/>次回、開催予定について 平成30年7月30日（月）13：30～ デイサービスままににて開催予定</p>
---------------	---